

## 答辞

本日は私たちのために素晴らしい卒業式を挙行してください、誠にありがとうございます。ご多忙中にも関わらず、私たちのために御臨席くださいました皆様へ、卒業生一同を代表し、心より感謝申し上げます。

思い起こせば、三年前の春、内進生である私は新しい仲間との出会いに想いを馳せ、少しばかりの緊張と期待を胸に高校という新たな舞台での生活を楽しみにしていました。気がつけば、今日は卒業の日です。待ちに待った卒業式という人もいれば、来て欲しくなかったという人もいるでしょう。この三年間、皆さんはどのような思い出を作ってきたでしょうか。振り返ってみると、私が初めて皆さんの前に出てお話しをしたのは、高校一年生の時にラジオ英会話の大西先生が来校した時だったと思います。その時、皆さんにどのような印象を与えたでしょうか。きっと、英語が話せるちょっと見た目が怖くてごつい人と思われていたことでしょう。今はその印象も変わって、見た目に反して優しい人だと思われて

いたら幸いです。

今年、私たちは大学受験に臨みました。内進生は中学受験以来六年ぶり、高入生は高校受験以来三年ぶりの受験です。多くの希望と不安を抱え、大学という次のステージに向けて一年間メリハリをつけながら、受験生という自覚を持って、勉強に勤しんだ事と思います。夏休みになるといっそう勉強しようと思いを引き締めて、机に向かいました。しかし、そこで宣言された新型コロナウイルスによる休校。学校祭の準備と勉強を天秤にかけながらなんとか、このウイルスによって生み出された障害を乗り越えることができました。学校祭では一旦現実から離れて、非日常を全力で楽しみ、一生残る思い出を作れたと思います。学校祭が終わり、日常に戻ると、徐々に模試の数が増えていき、自分の学力だけでなく体調も気にしなくてはならないようになってきました。判定はいいものばかりではなく、一喜一憂しないようにと指導されていたにも関わらず、落ち込んでいた日々を思い出します。そして迎えた共通テスト。難化すると言われていたその試験は、想像を遥かに超える難しさとなりました。終わってから

絶望したと言っても過言ではありません。しかしそれを乗り越えたからこそ、今日の私たちがあるのだと思います。今年一年、コロナをはじめとする様々な障害が私たちの歩みを妨げようとしてきました。けれども私たちはそれぞれの目標に向かって、歩みを止めなかったと胸を張って言えるでしょう。私たちは今後様々な経験をしたいと思います。今までとは異なり、それぞれ別の進路へと進むことになります。辛い思いをしたとしても、この一年で身についた忍耐力、困難を乗り越えた経験は必ず生きてくると思っています。新型コロナウイルスの猛威は未だ衰えていません。世界情勢をみても不安になることがとても多いです。先行きの見えない不安が続きますが、次の一步を踏み出さなければなりません。高志で学び、成長した私たちには無限の可能性があります。自分の可能性を信じて、この不安定な時代を乗り越えていきたいと思っています。

さて、私たちが今日、受験を乗り越え、この卒業式を迎えることが出来たのは、私たちをどんな時にでも支えてくれた保護者や先生方、参考書や、アドバイスを下さった先輩方や応援してくれ

た後輩たち、そしてともに戦い抜いた周りにいる仲間たちのおかげです。先生方へ。今年一年だけでも数え切れないほどたくさんの方の相談をさせていただきました。その度に、どんなに些細なことでも親身になって対応してくださったことに本当に感謝しています。相談する度に生徒の幸せを心から願っていることが伝わってきて、本当に恵まれた環境で高校生活を送ることができたのだと実感しています。先生方に出会い、日々教えていただけたことがどれほど幸せなことか、高校生活が終わりに近づくにつれて気づいていくことができました。本当にありがとうございました。家族へ、いつもありがとう。迷惑をかけることも多かったと思います。今年一年は特に、成績が悪くてイライラして、理不尽に怒ってしまったこともあります。日頃伝えることができなかった感謝の気持ちを今ここで伝えます。いつも自分を信じてくれてありがとう。自分にあって何が最善か考えてくれてありがとう。だからしない自分を時には叱ってくれてありがとう。これから私たちは親元を離れてしまいます。私には、その嬉しさと寂しさを十分には汲み取ることができないかもしれませんが、どんなに離れていてもあなたの子供です。これからも見守っていてください。そして

最後に同じ三年生のみんなへ、高校三年間毎日充実して過ごすことができたのはみんなのおかげです。休み時間の無駄話だったり、休日に遊んだり、部活動と一緒に頑張ったり、受験期にはお互いを励ましあったり、全てかけがえのない思い出です。これからは今までのように毎日会うことはできないけれど、たまに会った時には思い出話で盛り上がって、これまでの高校生活のように仲良く楽しい時間を過ごしましょう。みんなに出会えて幸せです。本当にありがとうございます。これからのみんなの活躍を心から祈っています。

最後になりますが、私たちを支えてくださった方々に改めて御礼を申し上げますとともに、本日までご臨席いただいた皆様のご健勝と高志高等学校、高志中学校の更なるご発展をお祈りして、答辞いたします。

令和四年三月十五日 福井県立高志高等学校

第七十三回卒業生 代表 門屋知仁